

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
 例会日 毎週月曜日 12:30~
 例会場所 シェラトン都ホテル大阪
 事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
 〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
 TEL. 06(6772)2320
 FAX. 06(6772)2327
 E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 岩崎 史郎
 会長エレクト 鈴木 勝俊
 副会長 細川 勝治
 幹事 岡田 忠彦
 会報委員長 金子 勝信

Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

2012~2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次

第1881回例会 平成25年2月25日(月曜日) 第26号

本日の例会

2月25日(月) 第3例会

- ◎ソング 「町に灯を」
- ◎卓話 「AGAについて」
(担当:金子勝信会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

次回の例会

3月1日(月) 第1例会

- ◎テーブルミーティング
- ◎本日の献立 軽食ワンプレート

前回の記録

2月18日(月)第2例会

- ◎ゲスト 大和高田RC 鈴木勝士様

会長挨拶 会長 岩崎史郎

今日は、自動車損害賠償責任(自賠責)保険が4月1日より引き上げになりますので少し話をしたいと思います。自賠責保険は、使用する際に強制的に加入する保険で、人身事故が発生した場合に被害者の救済を図る事を目的としています。人身事故の障害に付いては治療費その他の費用を含め最高120万。後遺障害に付いては14級の最高75万から1級の3,000万まで各級ごとに保険金が支払いされます。又、死亡事故に付いては、逸失利益等から試算され最高3,000万まで保障がされます。

自賠責保険は、原付自転車から大型自動車まで、全車両が加入し、国が管理していますが、金融庁は、自動車損害賠償保険審議会を開き、4月1日から保険料を平均で13.5%引き上げる事を決定しました。値上げは2011年以来、2年ぶりとなります。

自賠責保険は赤字や黒字を出さないよう保険料を定期的に見直しており、2008年度には約5千億円の黒字を還元するために保険料を平均24%引き下げました。ただ、その後

は後遺障害が残る事故の増加などで保険金の支払いが増えて赤字に転落。金融庁は2011年に保険料を平均11.7%引き上げたが、それでも2013年度に累積赤字を補填しきれなくなる事が現実になったため、再度の値上げを決めました。

今回の料率改定により、自家用乗用自動車の保険料は現在の2万4,950円(2年契約)が4月から2万7,840円に上昇し、契約者の負担は2890円増加する見通し、ただ、保険料は車種ごとに損害率(収入保険料に対する支払った保険金の割合)に基づいて見直すため、引き上げる一方で、事故率の低い車両に付いては保険料が引き下げられます。

幹事報告

幹事 岡田忠彦

- 1、他クラブ例会変更及び休会の案内を掲示しています。
- 2、2770地区より田中作次物語のDVDのご案内がきていますので、回覧致します。DVDは6分ほどで1枚千円ですが、千円はすべてポリオの寄付となっておりますので、ご購入の程宜しくお願い致します。

出席報告

尾崎委員

本日の会員数	34名
本日の出席者数	24名
本日の出席規定適用免除会員	10名
本日の出席率	82.76%
1月21日の修正出席率	90.32%

SAAニコニコ箱報告

清水副SAA

瀧田会員 春節祭に参加、佐井さんありがとう。そのあと米寿の記念会を開いて頂き、感謝、感謝です。参画された方々謝(シエ-)謝(シエ-)

和田会員 例会欠席のお詫び。

委員会報告

社会奉仕員会

委員長 小川高弘

3月24日(日) 東大阪東ロータリークラブ主催「あつまっ会」の大抽選会用景品の〆切が2月末となります。ご家

庭や会社にございます品物等のご寄付を宜しくお願い致します。2月末までに、例会場もしくは事務局に送って頂ければ、東大阪東RCの方が取りに来ていただけます。

卓話 「星の話」 浅野光男

晴天の夜空で、明かりの少ない場所に行けば今でもかなりの星を見る事が出来ますが、かなり昔、若狭湾へキャンプに行った時、浜辺で夜空一面に粉を撒いた様な星空を見て、非常に感動した事を今でもはっきり覚えています。

肉眼で見えている星は全て太陽と同じ自分で燃えている恒星であり、そしてその全てが我々が存在している銀河系内にあるせいぜい数百から数千光年程度までの恒星です。但し、アンドロメダ銀河・大マゼラン星雲、小マゼラン星雲の3星雲だけは肉眼で見える銀河系外天体です。

その内のアンドロメダ星雲は、我々の銀河系星雲に最も似ている天体と言われています。宇宙はあまりにも巨大なので、星や銀河までの距離をあらわすときは、「光年」という単位(1光年は秒速30万キロメートルの光が1年かけて進む距離)でこれを我々が使っている単位ですと9兆4600億キロメートルとなります。

太陽の40倍もあるシリウムまでが9光年、七夕の織姫ベガまでが27光年、我々銀河系の直径が10万光年、そして銀河系外ではアンドロメダ星雲までは230万光年、遠くの銀河は1億光年・10億光年、100億光年、2007年に発見された最も遠くクエーサーという天体までは130光年もあります。宇宙創造年齢が137億年と考えられておりますのでほぼ宇宙誕生時の光が今やっと届いた事になります。

年に1、2度、山奥に行きますと天の川(銀河の中心部)を見る事が出来ますが、それでも肉眼で見えるのは3000光年の範囲で輝くせいぜい3000個程度でそれが全てではなく、宇宙はその向こうにも、さらにその向こうにも広がっていますので、星の数もはんばではありません。我々の銀河系星雲には1000億個以上、さらに宇宙には銀河系と同じような星雲が1000億個以上、星の数は1000億×1000億個以上あると考えられています。宇宙は137億年前のビックバンから始まったとされていますが、その爆発により全体が激しく膨張していることは既に知られております。それと同じに銀河系内の恒星も激しく膨張しています。そのスピードは毎秒50キロメートル(時速18万キロ)、そんな猛スピードで膨張しているのに何故星同志が衝突しないのかと思われるかも知れませんが、例えば、太陽の一番近くの星ケンタウルスまでは4.3光年、夜空にびっしり輝いているように見えても実はスカスカ、天文学者の中にはその感を「ヨーロッパ大陸に蜂が3匹くらい」又、「太平洋にスイカが3個」と言った日本の学者もいます。

オリオリ座の一際明るい星ペテルギウスは、近々大爆発を起し超新星が出現すると言われております。但し、460光年先にありますので、もし今日出現したとしたら460年前に爆発した事となり、少しは地球上にも影響があると言われております。そして近々と言っても宇宙時間で考えますと何十万年先かも知れません。

※太陽からの平均距離と地球との大きさ比較は割愛します。地球の歴史

我々が生息している太陽系は、銀河系の中心部分より約60%月側に位置しています。銀河系が出来て約123億年、太陽は約50億年、地球は約46億年前に形成されたと考えられています。地球の歴史をたどってみましょう。

海が出来て40億年、最古の生物化石とされているのが36億年前、目で確認出来る生物が誕生したのが6億年前、昆虫が生息し始めたのが3億年前、恐竜が生息し始めたのが2億3000万年前から(恐竜滅亡は6550万年前なので1億6450万年もの長きにわたり生息していた)ちなみに恐竜滅亡は南北アメリカ大陸の真中カリブ海に大隕石が衝突してその噴煙が地球全体を覆いつくし、氷河期がきて食料がなくなり滅亡したと考えられています。

日本列島の原形が形成されたのが5600万年前、猿の祖先が4700万年前、そしてやっとならんと猿と人類へと分離する類人猿が出現したのが500万年前、ついに人類へと進化していくアウストラロピゼンスが400万年前、そして皆さんが良くご存じの人類の祖先(知的生物の誕生)ホモサピエンスが出現したのが20万年前、現在に至っております。

地球と太陽の末路

太陽の寿命は約100億年と考えられています。太陽が出来て50億年、人類年齢で例えれば現在は28歳の青年期です。完全に消滅するまでは後70億から100億年と考えられておりますが太陽の寿命が尽きる前に太陽系惑星も亡くなってしまいます。それは、太陽が老年期の赤色巨星になった段階(活動が終盤になると段々膨張してその大きさはほぼ地球が365日かけて太陽の周りを回る公転軌道よりも大きくなる)で地球は飲み込まれてしまいます。ちなみに太陽より8倍以下の小さな質量の恒星は白色わい星を残して消えてしまい、もっと大きな質量の星は新星爆発を起し、更に大きな星は超新星爆発をおこし昼間でも観測する事が出来ます。地球が誕生して46億年その中の人類として生きているのがまだ20万年、46億年を直線1キロメートルに例えれば人類の20万年はたった1ミリに満たないほどです。残りの40億年人類はどのように生きて行くのでしょうか。以前ある物理学者の講演会に参加した時、私は「地球が滅亡してしまうまでに人類は地球外の知的生物と巡り合うことが出来ますか」と質問しました。その回答に私は目からウロコが落ちるとはこの事かと納得いたしました。一番長く生存した恐竜ですら1億6450万年、40億年の間には大隕石の衝突、地球上の予測も出来ないような天変地異、そして人類自らのおろかな環境破壊により何処かで滅亡への道を歩むであろうと、その後又違う生命が進化した世界が誕生すると幾度も繰り返して行くであろうと言われました。

気の遠くなる話ではありますが、いずれは我々が必死で築いて来た歴史全てがこの地球上から亡くなってしまふこの非情は何なんでしょうか。しかしながら、長い長い人類の歴史の中で今、皆さんと巡り合っている事の不思議を大切に心に留めて参りたいと思います。